

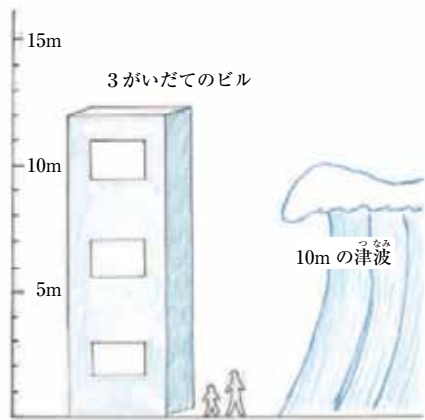
つなみについて知ろう

海^{かい}でい^{うみ}（海^{うみ}のそこ）で地^じしんがおきると、大^{おお}きななみ^{なみ}が、もうス^ちピード^ちでりく地^ちをおそいます。すると「つなみ」がおこることがあります。「つなみ」について学^{がく}習^{しゅう}しましょう。



東北地方太平洋沖地震で起きたつなみ
(宮古市役所ていきょう)

1 おそろしいつなみ



つなみの大きさ
神戸市教育委員会「しあわせはこぼう」より

つなみは、とてもはやく、大人^{おとな}が走^{はし}ってにげても、おいつかれてしまうほどです。また、つなみはとても強^{つよ}い力^{ちから}をもっていて、大人^{おとな}でも高^{たか}さ10c m^{センチメートル}のつなみで足^{あし}をとられてしまうと言^いわれています。東北地方太平洋沖地震^{とうほくちほうたいへいようおきじしん}で発生^{はっせい}したつなみは、家^{いえ}をおし

ながしたり、ビルをたおしたりするほどでした。そして、多^{おほ}くの人のい^{ひと}のちがうばわれました。

東北地方太平洋沖地震^{とうほくちほうたいへいようおきじしん}では、人^{ひと}びとが考^{かんが}えていたよりもはるかに高^{たか}いつなみ^{なみ}が仙^{せん}台^{だい}市^しをおそいました。仙^{せん}台^{だい}市^し若^{わか}林^{りん}区^くの荒^あ浜^{はま}では、高^{たか}さ10 m^{メートル}ものつなみがおそってきま

2 つなみからにげる～早く、高いところへ～

つなみは、早^{はや}いところでは地^じしんがおきてから数^{すう}分^{ぶん}でやってきます。海^{うみ}の近^{ちか}くで地^じしんにあつたら、かならず、つぎのことをまもりましょう。

- ① 少^{すこ}しでも早^{はや}く海^{うみ}から遠^{とお}いところへにげる。
- ② より高^{たか}いところへひなんする。
- ③ つなみは何^{なん}度もやってくるので、その後^ごもぜったい海^{うみ}に近^{ちか}づかない。
- ④ 川^{かわ}のそばにいるときは、川^{かわ}からはなれる方向^{ほうこう}にすばやくにげる。



つなみからにげるために、屋^{おく}上^{じょう}にひなんする人^{ひと}びと



※「つなみてんでんこ」
岩^{いわ}手^て県^{けん}の三^{さん}陸^{りく}海^{かい}岸^{がん}地^ちいきには、つなみが発生^{はっせい}したら一人^{ひとり}一人^{ひとり}がてんでばらばらに高^{たか}台^{だい}ににげるといういみの言^いいつたえがあります。

つなみのきけんやひなん場所^{ばしょ}をしめすひょうしき

つなみちゅうい

つなみひなん場所^{ばしょ}

つなみひなんビル

海^{うみ}の近^{ちか}くに行^いったときは、このよ^ようなひょうしきがないか、たしかめておきましょう。正^{ただ}しいひなんの仕^{しかた}方^{ほう}で自^じ分^{ぶん}のい^いのちをまもりましょ

世^せ界^{かい}津^{つな}波^みの日^ひ (11月5日): 日^に本^{ぽん}がていあんし、国^{こく}れんでせい定^{てい}されました。